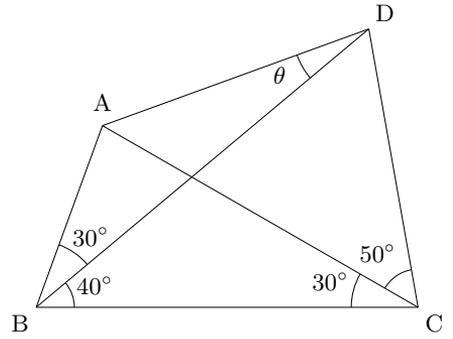


【整角四角形 $Q(30, 40, 30, 50)$ 】

図の θ の角度を求めよ。



【解答 1】 $Q(20, 30, 25, 30)$

数学セミナーの解法と同じ方法

$$\angle ABC = \angle ABD + \angle DBC = 30^\circ + 40^\circ = 70^\circ$$

$$\angle BCD = \angle BCA + \angle ACD = 30^\circ + 50^\circ = 80^\circ$$

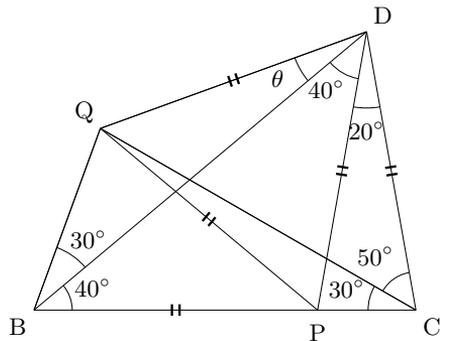
まず、線分 BC 上に $DP = DC$ を満たす点 P をとると、

$$\angle DPC = \angle DCP = 80^\circ$$

$\triangle PBD$ の内角と外角の関係から

$$\angle PDB = \angle DPC - \angle PBD = 80^\circ - 40^\circ = 40^\circ = \angle PBD$$

よって、 $\triangle PBD$ は $PB = PD$ の二等辺三角形となる。



次に、線分 DP に関して点 C と反対側に DP を一辺とする正三角形を作り、第 3 の頂点を Q とすると、

$PQ = PB = PD$ であるから、点 P は $\triangle QBD$ の外心である。

$$\angle QBD = \frac{1}{2} \angle QPD = 30^\circ = \angle ABD$$

ゆえに、点 Q は直線 BA 上にある。……①

$DP = DC = DQ$ であるから、点 D は $\triangle PCQ$ の外心である。

$$\angle PCQ = \frac{1}{2} \angle PDQ = 30^\circ = \angle PCA$$

ゆえに、点 Q は直線 CA 上にある。……②

①、② より、点 Q は問題の点 A と一致する。

$$\text{ゆえに、} \angle ADB = \angle ADP - \angle BDP = 60^\circ - 40^\circ = 20^\circ$$

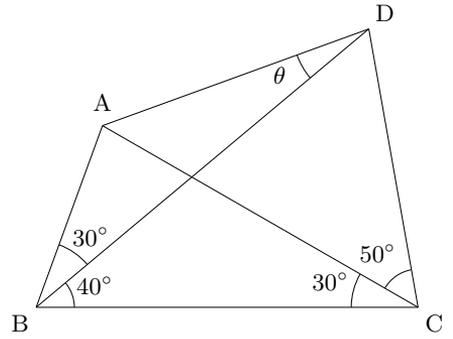
二等辺三角形や正三角形を無理矢理作ります。

この解答から、問題を【一般化】できる。

$a = c = 30^\circ$ 、 $2b = c + d$ ならば $\theta = 60^\circ - b$ である。ただし $15^\circ < b < 45^\circ$ とする。

【整角四角形 $Q(30, 40, 30, 50)$ 】

図の θ の角度を求めよ。



【解答 2】 $Q(20, 30, 25, 30)$

数学セミナーの解法と同じ方法 (榎本孝一さんを参考。)

$\triangle ABC$ の外接円の中心を P とすると、
円周角と中心角の関係より、

$$\angle APB = 2\angle ACB = 60^\circ$$

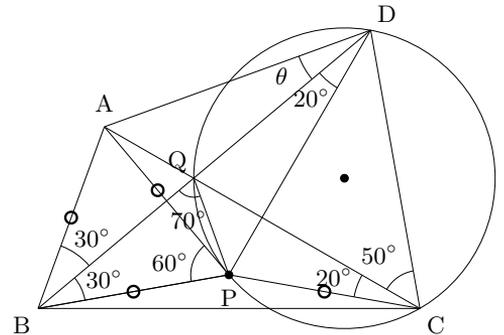
よって $\triangle APB$ は正三角形である。

$\angle DBP = 60^\circ - 30^\circ = 30^\circ = \angle DBA$, $BP = BA$ より、

$\triangle DBP \equiv \triangle DBA$ よって $\angle ADB = \angle PDB \dots\dots ①$

$\angle PCB = \angle PBC = 40^\circ - 30^\circ = 10^\circ$

よって $\angle ACP = 30^\circ - 10^\circ = 20^\circ$



また、対角線 AC と BD の交点を Q とすると

$\triangle QAB \equiv \triangle QPB$

$\angle PQB = \angle AQB = \angle QBC + \angle QCB = 40^\circ + 30^\circ = 70^\circ \dots\dots ②$

また $\angle PCD = 20^\circ + 50^\circ = 70^\circ \dots\dots ③$

②, ③ より、4 点 D, C, P, Q は同一円周上にある。

円周角の定理より、

$$\angle PDQ = \angle PCQ = 20^\circ \dots\dots ④$$

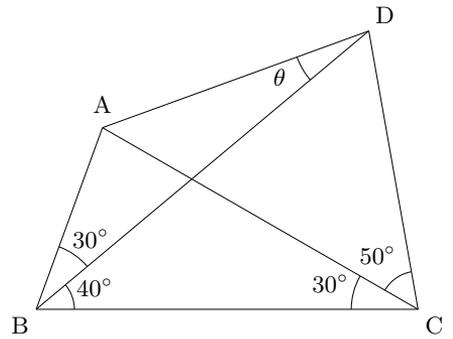
①, ④ より、 $\angle ADB = 20^\circ$

この解答から、問題を【一般化】できる。

$a = c = 30^\circ$, $2b = c + d$ ならば $\theta = 60^\circ - b$ である。ただし $15^\circ < b < 60^\circ$ とする。

【整角四角形 $Q(30, 40, 30, 50)$ 】

図の θ の角度を求めよ。



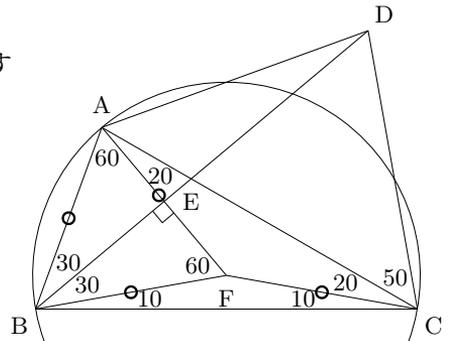
【解答 3】

図において、単位 ($^\circ$) を省略する。

対角線 AC と BD の交点を E とし、 $\triangle ABC$ の外心を F とすると、

$\angle AFB = 2\angle ACB = 60^\circ$ より $\triangle AFB$ は正三角形である。

自明な角は右図のようになる。



直線 BD と CF の交点を G とすると、

$$\angle CGD = 40^\circ + 10^\circ = 50^\circ$$

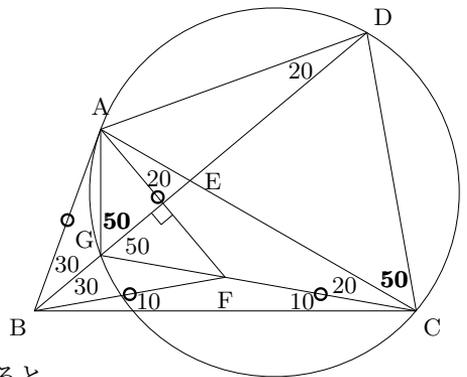
線分 DG は正三角形 ABF の対称軸から、

$$\angle AGD = \angle CGD = 50^\circ = \angle ACD$$

2点 C と G は線分 AD から見て同じ側にあるから、

四角形 AGCD は円に内接する。

よって、 $\angle ADB = \angle ACG = 20^\circ$



【予備知識】 $a = c = 30^\circ$, $2b = d + 30^\circ$ のとき

$\triangle BCD$ の外心を F とし、直線 BD と CF の交点を G とすると、

線分 DG は正三角形 ABF の対称軸から、四角形 AGCD は円に内接する。

$\angle ADB = \angle ACG$ より $\theta = 60^\circ - b$ ただし、 $15^\circ < b < 60^\circ$

a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
30	31	30	32	29	30	41	30	52	19	30	51	30	72	9
30	32	30	34	28	30	42	30	54	18	30	52	30	74	8
30	33	30	36	27	30	43	30	56	17	30	53	30	76	7
30	34	30	38	26	30	44	30	58	16	30	54	30	78	6
30	35	30	40	25	30	45	30	60	15	30	55	30	80	5
30	36	30	42	24	30	46	30	62	14	30	56	30	82	4
30	37	30	44	23	30	47	30	64	13	30	57	30	84	3
30	38	30	46	22	30	48	30	66	12	30	58	30	86	2
30	39	30	48	21	30	49	30	68	11	30	59	30	88	1
30	40	30	50	20	30	50	30	70	10					